別海町農業・農村振興計画

概 要 版

大気・森・川・海を育む酪農郷を目指して

環 境　**個 性**　**信 頼**

平成２８年　７月

北海道　別海町

はじめに

別海町は広大な大地で約１０万頭の牛が「いのち」を育みながら、新鮮な牛乳を生み出すとともに、国後島を望むオホーツク海はサケ、マス、ホタテ、ホッカイシマエビなど「いのち」の宝庫であり、緑の大地と青い海を清流・西別川がつなぐ「生命めぐる大地」です。

別海町の農業・農村を持続的に発展させながら、生命が循環する「かけがえのない大地」を次世代へと引き継ぐためには、世代から世代へ、生産者から地域住民へ、都市から農村へと交流が広がり、地域に愛着と誇りを持つ「人がめぐる大地」であるとともに、川や海などの水環境の保全、河畔林などの緑の再生といった環境と調和した農業を目指すことにより、地域住民をはじめ消費者の理解と信頼を得る「水と緑がめぐる大地」であることが大切です。

いま、大きく変化する社会・経済・環境など次代の潮流を見据えながら、別海町固有の優れた可能性を最大限に発揮し、町民はもとより国民の期待に応えていけるような農業・農村の確立を目指して、「環境」「個性」「信頼」の３つの視点から描いた将来像を柱に、別海町の農業・農村の振興を図っていきます。

計画見直しの背景

別海町では、平成18年３月に「別海町農業・農村振興計画」を策定し、平成２４年３月に中間年の見直しを行いました。

本町の農業は、地域の基幹産業として重要な役割を担っているため、このような時代の潮流をしっかりと見極めながら、“将来にわたって持続的で多様な農業生産”と“魅力ある農村環境の確立”に向けて、引き続き力強く発展していくことが求められています。ゆえに、農業・農村を取り巻く環境や社会情勢の変化を踏まえ、「環境」「個性」「信頼」の３つの視点を柱とした新たな「別海町農業・農村振興計画」を策定することとしました。

本計画の性格と特徴

この計画は、町内の生産者、消費者、関係機関・団体が連携・協力を強めながら本町の農業・農村振興に取り組む共通の指針であるとともに、町民はもとより町外の消費者や関係機関・団体などへの別海町からのメッセージとしての性格を持っています。

この度の計画策定に際して、町民アンケート・パブリックコメントの結果を受け、今後１０年間に優先的・重点的に取り組むべき事項を明示しています。

目標年次（計画期間）

計画期間については、２０１６年（平成２８年度）から、２０２５年（平成３７年度）までの10ケ年を目途としますが、この間に国の「食料・農業・農村基本計画の」見直しがあることから、計画開始から５年目には、国の農政等の動向を見据えて「計画」の見直しの必要性について検討します。なお、時期にかかわらず大きな社会・経済情勢の変化などがあった場合は、その必要性を検討した上で計画の見直しを行います。

別海町固有の優れた可能性を最大限に発揮し、町民はもとより国民の期待に応えていけるような農業・農村の確立を目指して、「環境」「個性」「信頼」の３つの視点から描いた将来像を柱に、別海町の農業・農村の振興を図っていきます。

別海町が目指す農業・農村の将来像

豊富な土地や草資源を活かす中で、**「環境」**とも調和し、自給飼料に立脚した草地型（循環型）酪農が進められています。

土・草・牛のバランスを維持するため、家畜排せつ物を適切に処理し、有機質肥料として農地に還元し、草地の適切な肥培管理や臭気の軽減を行う中で、バイオマス資源の利活用、自給飼料を最大限に活用するための植生改善をはじめ、酪農や肉用牛経営における放牧の推進など、農業と漁業が共存共栄できる**「環境」**と調和した酪農・畜産が着実に広がっています。

また、農業者と漁業者との連携を中心として地域ぐるみで河川・湖沼の**「環境」**改善活動が進められ、①多様な生物が生息し、来訪者の感動を呼ぶような別海町本来の豊かな水環境の保全、②牛が新緑の草地で草を食む姿など、大らかで美しい農村景観の形成、③それぞれの農場が美しい花を植えたり、農場内が衛生的であったり、生活者にも来訪者にも心安らぐ農場**「環境」**が整えられるなど、次の時代を担う子どもたちに誇れる酪農郷づくりを推進します。

経営意欲と能力のある農業者や農業生産法人などの多様な経営体が、規模や経営資源、さらに消費者・社会ニーズに応じて、それぞれの**「個性」**を活かした多様な農業経営を展開しています。

また、地域や集落毎の創意工夫と固有の資源が十分に活かされ、その地域や集落の魅力に満ちた**「個性」**豊かな農村づくりを推進します。

農業者は常に、食料生産を通じて国民の健康や生命を守っていることへの誇りを持つとともに、牛乳・乳製品を食べて生産を支える消費者の動向を注視し、消費者のニーズに応える安全・安心・良質な生産と、生産に関する情報の積極的な提供により、消費者から高い**「信頼」**を獲得しています。

また、農村地域の住民が快適でゆとりある暮らしを営むことを第一に、農村の豊かな自然環境や日本にいるとは思えないような広大な景観、これまで培ってきた郷土の食文化などを活かして、農業者と消費者・都市住民とのふれあいや顔の見える交流活動が盛んに行われ、そうした取組を通じて、生産される生乳に対しても確かな絆と**「信頼」**の関係が築かれる取り組みを推進します。

計画の基本的施策

郷の「環境」を育む　～環境との調和と自然循環機能の活用～

農業　環境にも調和した草地型（循環型）農業の推進

① 「土」－「草」－「牛」の自然循環機能を基本とする持続的な農業の推進
- 草地基盤をフル活用した良質で低コストな自給飼料の生産・利用の推進
- 地域条件や飼養形態に応じた多様な放牧の推進
- 安全・安心・品質の良い農産物の生産を進めるクリーン農業の推進
- エゾシカによる牧草食害に対する総合的な被害防止策の推進

② 生産活動に由来する家畜排せつ物等の適正な処理・利用による環境負荷の軽減
- 未利用資源の有効利用と、再生可能エネルギーの生産・利用拡大の促進
- 農村環境の保全に向けた環境負荷軽減策の検討
- 家畜排せつ物処理・利用技術などの開発に向けた研究機関との連携

③ 適切な衛生管理と家畜の生理に適応した生産の推進
- 的確かつ効率的な家畜衛生対策の推進及び家畜伝染病発生に備えた防疫体制強化
- 生産環境整備に対する農業者の意欲喚起
- 家畜の生理に即してストレスを最小限に軽減する飼養管理の推進
- 農場衛生管理手法（農場HACCP）の普及・認証取得の促進

農村　良好な水環境の保全と、美しい農村景観・農場環境の創造

① 次代へ引き継げる農村地域の豊かな水環境の保全
- 汚濁物質を適正に処理できる施設整備の推進
- 環境に配慮した農業・農村基盤整備と、適切な管理の推進
- 環境保全活動に取り組む地域住民組織づくりと、組織による地域活動の推進

② 地域の誇りとなる美しい農村景観・農場環境づくりの推進
- 農場周辺やスラリー散布時期の市街地における臭気対策の推進
- 農場周辺の環境改善の促進
- 花壇づくりや植樹による森づくりなど、住民参加型の身近な景観づくりの推進
- 美しい景観づくりや魅力ある観光空間づくりを図るシーニックバイウェイの推進

多様な「個性」を磨く　～多様な選択肢と多面的機能の発揮～

農業　多様な担い手が支える安定した農業経営の確立

① 多様な担い手づくり
- 新規就農希望者の受入体制づくりと、新規就農者を支援するための各種事業の活用
- 農地の集積・集約化や様々な経営継承の取組の推進と、担い手の育成などの役割を果たすことが期待される農協や民間企業など、共同出資による法人設立への支援
- 北海道指導農業士・農業士が担う役割の強化と活動の促進
- 女性農業者が活躍できる環境整備の推進

② 多様な経営体の育成
- 労働負担の軽減を図るスマート農業の導入など、生産性の向上とゆとりある農業経営を実現する取組の推進
- 家族経営を地域でサポートする多様な営農システムの確立と、経営基盤の安定化及び地域全体での所得向上や担い手確保の推進
- 草地基盤整備の推進と草地型酪農の推進
- アグリビジネスによる経営の多角化の推進

農村　活力に満ち、心豊かに暮らしていけるオンリーワンの地域づくり

① 別海町の特色ある資源を活かした農村づくりの促進
- 農村地域の多様な資源を活用した農村づくりと、環境美化などのコミュニティ活動の推進
- 地域資源を最大限に活用した新たな価値の創出や雇用の確保と所得の向上を促進

・農村づくりを後押しする役割を担う人材育成の推進
・集落人口の増加と活性化の促進

② 快適でゆとりのある生活環境の整備
・地域資源の適切な保全管理を図るための地域共同活動と、多面的機能の発揮による地域の活性化を促進
・農業生産基盤及び農村環境の整備を総合的に推進
・地域住民が参画する景観保全活動などの推進

③ 安心な暮らしを支える社会サービスの充実
・集落排水施設などの生活環境整備や農地及び農業水利施設の適切な保全と防災対策の推進
・医療や保健・福祉サービスの充実を図るため、在宅生活を支える福祉、農業団体との連携による介護サービスの充実や効率的な医療提供体制の推進

消費者との「信頼」を築く ～確かな評価と高い信頼～

農業 消費者ニーズに応える安全・安心・良質な生産活動の推進

① 食の安全・安心の確保に向けた取組の推進
・食料生産の最前線における食の安全・安心の確保に向けた自主的な取組の推進
・ポジティブリスト制度に基づく農薬・動物用医薬品などの適正使用の徹底
・安全な飼料の適正給与や飼養衛生管理の徹底と、その結果としての乳質改善の推進
・飼養衛生管理基準や農業環境規範の遵守に向けた意識啓発活動の推進
・生産情報公表JAS規格の取得など、食品の生産情報を生産者が正確に記録・保管・公表する取組の推進

② 消費者のニーズや期待に応える農業生産の推進
・消費者目線で生産環境・生産活動・生産物を客観的に評価する生産者自らの意識転換
・生産者と消費者との交流の場づくりなど、相互の理解と信頼を高める取組の推進
・地域資源を最大限に活用しながら、消費者から期待が高い「安全」「良質」「安定」「安価」「環境保全」などに応える農業の推進

③ 別海町農産物の付加価値を高める加工や販売の推進
・別海町産牛乳・乳製品の販路拡大や地域ブランド化に向けた取組の推進
・別海町産農産物の加工・販売における町民参加の仕組みづくりと、農産加工品製造の推進
・別海町産農産物の差別化や高付加価値化に向けた加工・販売戦略の構築

④ 地域ブランドの確立
・地域ぐるみの「べつかい」ブランドづくりの推進
・別海町産農産物の物語（付加価値）を創り出す取組の推進
・生産の背景（生産者、生産環境など）を消費者に伝えるＰＲ活動の実施
・道産食品独自認証制度の活用による地域ブランドづくりの推進
・地域ブランド名の地域団体商標登録に向けた販売促進や周知活動の推進

農村 地域資源と創意工夫を活かした幅広い連携や地域交流活動の推進

① 魅力ある食づくりと「食」を通じた消費者と生産者の関係強化
・伝統的な食文化の伝承など学校・家庭・地域における総合的な「食育」の推進
・地産地消や生産地ならではの魅力ある「食づくり」を推進
・別海町産農産物の生産・供給にまつわる物語の発信
・来訪者・都市住民などへの加工体験を提供する取組の推進
・アグリビジネスの展開による「食」を介在した生産者との交流機会の創出

② グリーン・ツーリズムなどによる都市・農村交流活動の促進
・別海町が有する魅力・地域資源の再評価と、別海町らしいグリーン・ツーリズムの推進
・都市が求める情報の発信と、積極的なＰＲ活動の展開
・活動の核となる人材やネットワーク組織の育成・強化、関連産業などとの連携の強化
・町内外の子どもたちに農業生産活動や農村環境を学んでもらう農業・農村体験の受入体制整備と、積極的な受入の推進
・ふれあいファームや酪農教育ファームなど、都市・農村交流拠点の創出

お問い合わせ先

〒086-0205　北海道野付郡別海町別海常盤町280番地
別海町　産業振興部農政課
ＴＥＬ：0153－75－2111
E-mail：nousei@betsukai.jp